

授業科目

看護診断学

担当教員名 目黒 優子	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○			○

授業の概要

NANDA-I看護診断の構成要素について理解し、看護診断を用いて看護過程を展開する基礎を習得する。

授業の目的

看護診断を導き出すまでの過程について、実際の事例を活用して看護診断名を決定できるようになることを目的とする。

学習目標

- 1.看護過程における看護診断の意義について説明できる。
- 2.NANDA-I看護診断における定義・診断指標・関連因子・危険因子とは何かについて説明できる。
- 3.ヘルスプロモーション型看護診断、リスク型看護診断、問題焦点型看護診断の違いについて説明できる。
4. NANDA-I分類法における領域（ドメイン）と類（クラス）の構造について説明できる。
5. NANDA-I看護診断を用いて、事例展開できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	看護過程における看護診断、看護における中範囲理論	講義	目黒 優子
2	NANDA-I 看護診断の構成要素	講義	目黒 優子
3	NANDA-I 看護診断の構成要素	講義	目黒 優子
4	看護診断と共同問題	講義	目黒 優子
5・6	事例展開 1	講義・演習	目黒 優子
7・8	事例展開2	講義・演習	目黒 優子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	NANDA-I看護診断：定義と分類 2015-2017	T.ヘザー・ハードマン、日本看護診断学会	医学書院	2015年	3,000円＋税	
参考書	看護診断のためのよくわかる中範囲理論 第2版	黒田裕子	Gakken	2015年	3,456円	
その他の資料						

評価方法

レポート：70%程度、テスト：30%程度

履修上の留意点

「看護理論」、「看護過程演習」、「病態生理・治療学」等の既習学習の知識を十分に活用されることを期待しています。

オフィスアワー・連絡先

実習指導で不在のことが多いため、事前にメールで連絡をしてから、お越しく下さい。

メールアドレス：meguro@nuhw.ac.jp

研究室：K412

オフィスアワー：金曜日15時～18時